

(株)藤里開発公社の経営状況について

株式会社藤里開発公社の経営状況について、6月議会定例会で報告したので公表いたします。

平成28年度藤里開発公社部門別損益計算書（H28.4～H29.3）

（単位：千円）

科 目	ホテル	健康保養館	白神山水 生産販売	加工センター	本 部	合 計
売 上	73,429	29,879	104,653	30,563	0	238,524
加 工 手 数 料	0	0	0	3,208	0	3,208
売 上 計	73,429	29,879	104,653	33,771	0	241,732
期 首 在 庫	1,709	509	6,233	6,425	0	14,876
当 期 仕 入	29,884	8,339	26,371	14,456	0	79,050
期 末 在 庫	1,276	549	5,399	5,528	0	12,752
売 上 原 価	30,317	8,299	27,205	15,353	0	81,174
売 上 総 利 益	43,112	21,580	77,448	18,418	0	160,558
一 般 管 理 費	103,356	48,273	59,923	26,265	16,550	254,367
営 業 利 益	△ 60,244	△ 26,693	17,525	△ 7,847	△ 16,550	△ 93,809
営 業 外 収 入	65,188	18,202	13,690	7,393	4	104,477
営 業 外 費 用	6,369	0	0	0	0	6,369
経 常 利 益	△ 1,425	△ 8,491	31,215	△ 454	△ 16,546	4,299
特 別 損 益	0	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	△ 1,425	△ 8,491	31,215	△ 454	△ 16,546	4,299
法 人 税 等	0	0	0	0	300	300
当 期 純 利 益	△ 1,425	△ 8,491	31,215	△ 454	△ 16,846	3,999

※6月議会定例会で報告した資料を編集して作成しています。

●ホテル（73,429千円、前年度比96.7%、2,468千円減）

観光目的の宿泊客が減少し、紅葉シーズンの入込客が回復しませんでした。レストランでは、メニューの見直しを行い、利用促進に努めました。また、6月から従業員が新体制となり、勤務シフトの改善を徹底して人件費の削減を行いました。売上原価は前年比1,180千円減となり、一般管理費はLED照明機器への変更などにより、前年比7,242千円の減となりました。

●健康保養館（売上高29,879千円、前年度比92.5%、2,429千円減）

町内をはじめ、周辺地域の少子高齢化・人口減少などの影響により利用者数の減少が続いています。9月から、無料送迎バスの運行回数を増やしたり、風呂の日やさまざまなイベントなどを実施して売上げの向上に努めましたが、昨年度を上回ることができませんでした。

●白神山水生産販売（売上高104,653千円、前年度比102.5%、2,515千円増）

昨年に引き続き、(株)アルビオンのプライベートブランド受注や他社からの受注があり、また、不良品除去のためのカメラ機器導入により1月から3月は昨年度を上回る受注となりました。売上原価において、備品消耗品の節減や社員の修理技術の向上により修繕費が減少したことから、営業利益は昨年比4,128千円の増となりました。品質管理面では、秋田県版HACCPを取得しており、更なる信頼向上に努めます。

●加工センター（売上高33,771千円、前年度比109.2%、2,847千円増）

白神ラムの販売増や加工商品のホテル売店での販売、出張販売などにより売上高は前年比2,847千円の増となりました。また、通年販売計画に対する仕入方式を徹底した結果、粗利益の増となり、営業利益の改善となりました。平成29年2月から開始した山芋皮むき事業は、施設を活用でき、町民の雇用と所得向上に繋がる部門として伸ばしていきたいと考えております。